

平成29年

シートベルト・チャイルドシート着用強調月間 ～カチッとベルトパーフェクト運動～

新潟県実施要綱

1 実施期間

3月1日(水)～3月31日(金)

2 目的

この運動は、県民にシートベルトとチャイルドシートの着用の必要性を訴えるとともに、正しい着用を徹底し、交通ルールの遵守及び交通事故発生時の被害の防止・軽減を図ることを目的とします。

3 スローガン (平成29年使用交通安全年間スローガン 内閣総理大臣賞)

「抱っこより 深い愛情 チャイルドシート」

4 運動の進め方

県、市町村及び関係機関・団体は、相互に連携を密にして、それぞれの実情に即した実施計画を策定して、シートベルトやチャイルドシートの使用・効果等について積極的な広報を行い、県民にシートベルトとチャイルドシートの着用徹底を呼び掛けましょう。



新潟県交通安全マスコット
ルルちゃん

新潟県交通安全対策連絡協議会

全ての座席でシートベルト着用

◎ シートベルト着用状況 (平成 28 年 10 月 県警察、JAF合同調査)

区分	着用率 (%)			
	新潟県		全国	
	一般道	高速道	一般道	高速道
運転者	98.2	99.8	98.5	99.5
助手席同乗者	93.9	98.8	94.9	98.0
後部席同乗者	43.7	70.6	36.0	71.8

新潟県における運転者の着用率は、98.2%です。

非着用者は、ごく僅かに感じますが、平成 28 年中運転席における死者 (28 人) のうち 46.4% (13 人) が非着用者でした。

シートベルトは正しく装着すると交通事故に遭った場合の被害を大幅に軽減できます。

シートベルトを正しく着用し、大切な命を守りましょう。

まだまだ低い後部座席の着用率

後部座席同乗者がシートベルトをきちんと着用していない場合、事故発生時に…

- 本人が致命傷を負う
- 同乗者に致命傷を負わせる
- 車外に放出される

等の危険性が飛躍的に高まります。

致死率もシートベルト着用時と比べて約 2 倍になります。

車に乗ったら、「前も後ろも、すぐベルト」を合言葉に、全ての座席でシートベルト着用を習慣付けましょう。

チャイルドシートの正しい使用

◎ チャイルドシート使用状況 (平成 28 年 11 月 県警察、JAF合同調査)

☆ 使用状況

区分	チャイルドシート使用率 (%)			
	1歳未満	1~4歳	5歳	6歳未満
新潟県	84.4	50.0	25.0	49.0
全国	85.7	66.8	39.1	64.2

○ 6歳未満全体の使用率は 49.0% で、全国ワースト3位です。

○ 1歳児未満の使用率は 84.4% ですが、5歳児の使用率は 25.0% と低調です。

☆ 子供の乗車状況

区分	チャイルドシート使用率 (%)	チャイルドシート不使用率 (%)			
		車両シートにそのまま着座	チャイルドシートにそのまま着座	大人用シートベルト着用	保護者の抱っこ
新潟県	49.0	21.5	5.3	19.3	5.0
全国	64.2	18.4	4.0	8.2	5.2

○ 抱っこやそのまま着座では、急ブレーキや衝突の際、車外放出などの重大な事故になる危険性があります。

○ 体の小さな子供が大人用シートベルトを使用すると、衝突時にすり抜けたり、首にかかって窒息や首の骨を折る等の危険性があります。

しっかりと付けていますか？チャイルドシート

JAFによる調査の結果、しっかりとチャイルドシートの取り付けができていないのは、全体の約 4 割で後の 6 割は取り付けミスが発生しています。

その原因は、「腰ベルトの締付け不足」が大部分を占めています。

今一度取り付け状態をチェックしましょう。

万が一の交通事故のとき、子供を守るのにはチャイルドシートです。

大切なお子さまを守るために、必ずチャイルドシートを使用しましょう。